
異世界旅行

とっち

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

異世界旅行

【Nコード】

N8958D

【作者名】

とつち

【あらすじ】

男子高校生の風夜がいきなり異世界を旅する力に手にする。なぜこんな力を与えるのか？なぜ風夜なのか？コメディ風味。調味料シリ阿斯。隠し味謎解き。みたいな感じ。

力をもらったけど謎だらけ（前書き）

他の作品は互いにリンクしてますよ。

力をもらっただけと謎だらけ

は！？

俺は今混乱している。

多分人生で一番。

そりゃ学校の授業で寝ていて、起きたら誰もいない。しかもいきなり全身白いコートで身を包んでいる変態がいて、世界を旅しろとか言われたら誰でも驚く。

「なんで！？」

夢じゃない事は、腫れてる自分の頬が証明している。

「なんでも」

このアマああああ！

顔は綺麗な顔してるのに。白いコートに金髪って似合うんだな！。

どうみても日本人なのに。染めてるのか？

それにしても綺麗な金髪だ。

それにしても綺麗。

少しクールな印象の顔。

天使版のエリートっぽい。

「いきなりそんな事言われても答えはNOだ！」

「お前の捜し人は、世界を旅したら見つかる」

それを聞いて俺は即OKした。

浅はか。

「本当に要と朔が見つかるんだな？」

「名前まで知らないが、見つかる。その二人は、1ヶ月前に異世界に召喚されている」

どうやら俺は勘違いしていたみたい。

まさか異世界が出てくるとは思ってなかった。

てっきり地球を旅するんだとばかり思っていた。

「そ、そうか。分かった！」

理解は早い方だ。

「じゃあ旅人としての力を授ける」

俺は気を失った。

起きたら学校。

さっきと違うのは、皆がいるという事。

俺は考えていた。

そして後悔していた。

理由を聞かなかった事、旅をして何をすればいいのか聞かなかった事。

力の使い方は、何となく分かる。
感覚で。

今日の夜にでも、異世界に行くつもりだ。
いつでも帰って来れるし。感覚で分かる。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8958d/>

異世界旅行

2010年10月11日23時39分発行